




SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 1 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
事業活動において持続的な環境負荷の低減と経営の効率・発展を目指し自社のSDGs活動範囲を広げる事で、持続可能な社会の構築に貢献する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
地域貢献として地域清掃活動、社外ボランティアへ参加。事業所周辺の耕作放棄地を弊社肥料を施肥する事により化学肥料に依存しない土づくりを行い自然環境に負荷の無い農業を実践する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標
			浄化センターから発生する脱水汚泥の処理を継続する事で綺麗な水を海に放流する事に貢献する。
	2回/月（清水駅、興津駅前清掃）30名/年→30名/年以上	今期実績：34名 達成。	取引先主催の朝の駅前清掃に積極的に参加する事で駅周辺の美化を保ち住みやすい町の維持に貢献する。 2回/月（清水駅、興津駅前清掃）30名/年以上
	製造した肥料の利用先を拡販することで、原料の受け入れ量を5%増加させる。 前期2,905t→今期目標3,050t	今期実績：2,448.47t 達成できず。	製造した肥料の利用先を拡販する事で、肥料の製造量を増加させる。原料の受け入れ量を5%増加させる。 今期目標4,740t 製造した肥料は販売するだけでなく自社のテスト圃場で利用し大生姜、ポップを栽培。大生姜はジンジャーシロップ、ジャム、紅生姜の原料として活用。ポップはビール原料として活用の予定。
	中間処理後の自社廃棄物のリサイクル率を5%向上させる。 前期累計72.6%→今期目標76%	11月現在63.3%	・浄化センターから発生する脱水汚泥の処理を継続する事で綺麗な水を海に放流する事に貢献する。 ・中間処理後の自社廃棄物のリサイクル率を5%向上させる事で陸上活動による汚染などあらゆる種類の海洋汚染を防止する。 ・セブン-イレブン・ジャパンと連携しセブンイレブン店舗に持ち込まれたペットボトルを回収、圧縮しプラスチック原料として出荷する事業に着手。静岡市内80店舗にペットボトル回収機を設置。
	弊社で製造する有機肥料の販売、利用量を5%拡大する。 前期159.8t→168t	今期実績：560.2t 達成。	化学肥料から有機肥料に切り替える事で陸上の生態系の保全に貢献する。製造する有機肥料の販売、利用量を5%拡大する。 前期175t→今期目標183t 浸食する放任竹林を整備する事で森林減少を阻止する。
	2回/年（海岸清掃）5名/年→5名/年以上	コロナ禍の為清掃活動は自粛となった為達成できず。	・所属団体主催の海岸清掃に積極的に参加する事で海洋汚染を防止する。 2回/年（海岸清掃）5名/年→5名/年以上 ・地元の任意団体と共同で耕作放棄地を利用してブルーベリーを栽培。生食で販売する他、ブルーベリージャムを製造・販売中。昨年は2,075本製造、今年は2,100本製造・販売を目指す。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	丸徳商事有限会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	13. サービス業（他に分類されないもの）	
3	従業員（構成員）数	35 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	松崎徹志
5	所 在 地	〒 424-0043	
		静岡市清水区鳥坂575番地	
6	ホームページURL	http://www.marutoku-shoji.jp/	